

一般質問(2)

子どもにツケを残さない！
時代が変われば市役所も変わる！

浜中 のりかた(自民)

郵便局やコンビニで住民票等の取得サービス実現を！

【質問】 将来、市役所の窓口サービスが大きく変わる可能性があると思うが、コンビニ等を活用した新たなサービスの進捗を問う。

【答弁】 平成28年12月をめぐりに、全国のコンビニで個人番号カードを利用すれば住民票、印鑑登録証明書、戸籍附票、住民税課税証明書が取得できるサービスの導入準備を進めている。

【意見】 ぜひ、サービスの実現を。情報技術の進歩により、市役所の規模や機能が大きく変わる可能性がある。市役所よりも老朽化した小中学校の建て替え等に限ら

れた財源を投入するべきだ。自治会・町内会活性化補助金のさらなる活用を！

【質問】 地域コミュニティ再生のために創設された自治会・町内会活性化補助金だが、申請状況等はどうなっているのかを問う。

【答弁】 現在、56団体から申請を受けており、平成26年度の実績を上回っている。マンシヨン管理組合からの申請も増え、制度が浸透してきている。

【意見】 地域コミュニティの再生は自治会・町内会をこの数年でどこまで再生できるかが鍵であると考え。この政策を検証し、よりよい制度の構築を要望する。

自治体シンポジウムについて
介護の日の取り組みについて

田中 のりあき(自民)

【質問】 平成27年10月10日・11日の2日間、市民会館で「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウムが開催された。開催に至った経緯と意図、そして参加状



多くの方が参加した「全国自治体シンポジウム」

況とその効果を問う。

【答弁】 平成26年7月に自死事案が発生し、検証委員会で対策をまとめ、虐待防止に向けた取り組みを講じる中、市民啓発や職員研修等が課題となった。このようなか、東洋大学の森田先生から本市での開催要請があった。2日間で、延べ745人の参加があり、市内から133人が参加した。芽室町長・名張市長・豊中副市長から先進的な取り組みを聞くことができた。2日目の分

【質問】 施設を長寿化する場、新築にかかる費用の6割をかけた、10年寿命を延ばすということだが、コスト面で言えば、やらないほうが安上がりだ。それでも長寿化するメリットはある。

【答弁】 建て替えが一定の時期に集中しないことにより、費用負担も平準化する。

【意見】 長寿化し、建て替え時期をずらすことで、公共施設のニーズがより鮮明になる場合もある。今の本市のように、人口増から人口減に切りかわる局面にいる場合、建て替えを急がないほうが、市民ニーズによりマッチした施設建設ができると思う。

【質問】 多摩地域唯一の健康都市連合加盟自治体として、今後目指すべき健康都市像とは。

【答弁】 保健医療の社会資源や予防活動にとどまらず、住環境や教育環境にも目を向け、まち全体の健康度を高める。

【質問】 子育て世代包括支援センターについて

【意見】 妊娠、出産、子育てと切れ目ない支援に加え、親が育児を楽しみと思えるよう幅広く支援を行うべき。

科会では、貴重な発表が行われ、市民・職員にとって、学びの多い有意義な時間となった。

【質問】 平成27年11月11日、介護の日のイベントの中で、柔道整復師会による介護予防運動が行われた。高齢者の運動の動機づけとして有効と考えるが、考えを問う。

【答弁】 介護予防運動は、有効であると考える。かかりつけ医・歯科医は、アンケート等で周知を図った。

【質問】 現在策定作業を進めている西東京市人口ビジョンにおいて、長期的人口動向を見ると、総人口の緩やかな減少と少子化のさらなる進展、生産年齢人口の縮小が憂慮される。今後安定した財政運営を持続するために、市の魅力を対外的にも発信し、まちの活力維持向上を図っていくことが重要と考える。

シティプロモーションについて
3・4・9号線の進捗について

小林 たつや(自民)

【質問】 シティプロモーションとは地域再生、観光振興、住民協働などさまざまな概念が含まれるが、「西東京市」というシティブランドを向上させるために、市はどのようなことを考えているか伺う。

【答弁】 現在策定作業を進めている西東京市人口ビジョンにおいて、長期的人口動向を見ると、総人口の緩やかな減少と少子化のさらなる進展、生産年齢人口の縮小が憂慮される。今後安定した財政運営を持続するために、市の魅力を対外的にも発信し、まちの活力維持向上を図っていくことが重要と考える。

【質問】 9月以降、各市へ行き、その地域に合った特徴的な行事や行政事業を視察してきた。本市としても、平成27年3月に国指定された下野谷遺跡などを使い、また市民映画祭自主制作映画コンペティションの優秀監督等に市の魅力を再発見するようプロモーションビデオの制作を頼むなどの努力を願いたい。

【質問】 3・4・9号線の進捗について伺う。

【答弁】 平成27年1月に事業認可を取得した谷戸新道から3・2・6号線までの区間は、今後、都が関係権利者に対して用地交渉を進めていくと聞いている。

28年度予算編成は丸山カラーを
市政はいつも「備えよ常に」では

遠藤 源太郎(自民)

【質問】 経常収支比率96・1%と厳しい財政状況の中、平成28年度予算編成の取り組みは。

【答弁】 さまざまな視点から重要課題に取り組む。

【質問】 農のあるまち西東京の取り組みは。

【答弁】 農業者と市民の交流をもとに農業の振興を図る。

【質問】 田無駅南口広場の実現に向けて具体的進捗は。

【答弁】 関係者の理解と協力のもと、事業認可図書の作成に入り認可取得を図る。

【質問】 「備えよ常に」は、青少年育成団体のモットーだ。市政全般に通じる。

【答弁】 防災は市民参加と体験を重視した訓練を実施。

【質問】 狭い道路に段差のある歩道はかえって危険だ。

【答弁】 道路の構造と安全確保の考えは一長一短ある。引き続き調査研究する。

【質問】 句碑のあるまちづくりも文化芸術の振興になる。

【答弁】 句碑の建立は永続性が問題化する。慎重に検討。

【質問】 青い道路標識歩行者・自転車マークは、とっさの判断が難しい。自転車ルール無視に通じるのでは。

【答弁】 自転車の交通安全向上を練返しPRしていく。

【質問】 学校給食の地元産野菜の利用率が11%と低い。

【答弁】 各学校の栄養士と野菜生産者との懇談会で意見交換し解決していく。



(仮称)第10中学校の周辺部に整備される(仮称)ひばりが丘三丁目緑道公園((仮称)ひばりが丘三丁目緑道公園基本プランより)

まちーひとーしーどー！
すすめる！新しいまちづくり！

酒井 こう一郎(自民)

西武柳沢駅周辺まちづくりについて

【質問】 まちづくりの機運醸成には、地域の方々の理解

が必要だ。説明会などを実施する考えは。

【市長】 まちづくりの機運醸成に向けた支援を行う。

【質問】 具体的イメージは。

【部長】 地域の将来像や都市計画道路整備課題等、先行事例など参考に説明を行う。

【質問】 公園行政について

【市長】 公園を健康づくりの拠点と考え健康遊具の積極的な設置が必要だ。見解は。

【市長】 平成28年度整備する(仮称)ひばりが丘三丁目緑道公園に設置を検討する。

【質問】 公園の位置づけや環境は少子高齢化で変化している。公園の再配置計画を市民目線で策定する必要がある。

【市長】 市民協働で実態調査を行い策定する必要がある。今後調査研究する。

【質問】 放課後の充実について

【市長】 帰宅後の子どもたちの居場所である児童館だが児童館のない小学校区での対応は。

【市長】 児童数の推移を見ながら施設確保に努めていく。

【その他質問等】

◇がん検診の指針の見直しについて

◇創業支援について

◇農業振興について

◇被災地支援について

◇健康都市連合と健康施策について

